

# 会議録

◇詳細—企画課未来戦略推進第3グループ 電話03-4566-2519

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 基本計画策定委員会(第1回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和2年7月2日(木) 10時00分~11時00分
開催場所		庁議室
議題		(1) 基本計画(2016~2025年度)後期の策定スケジュールについて
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	政策経営部を担当する副区長(委員長)、副区長(左記の者を除く。)(副委員長)、 教育長(副委員長)、政策経営部長、総務部長、危機管理監、施設整備担当部長、 区民部長、文化商工部長、環境清掃部長、保健福祉部長(欠席)、健康担当部長、 池袋保健所長(欠席)、子ども家庭部長、都市整備部長、地域まちづくり担当部長、 建築担当部長、土木担当部長、会計管理室長、教育部長、選挙管理委員会事務局長、 監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	政策経営部国際文化プロジェクト推進室長、政策経営部施設計画担当課長、政策 経営部「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長、政策経営部 SDGs 未来都市調整 担当課長、政策経営部財政課長、政策経営部行政経営課長、政策経営部セーフコ ミュニティ推進室長、政策経営部区長室長
	説明者	企画課長
	事務局	企画課未来戦略推進第3グループ

## 審 議 経 過

### (1) 策定スケジュールについて

#### 《委員長あいさつ》

**委員長** コロナウイルスへの対応や、それに係る今後の財政状況などから、今年度中の計画策定は難しい。来年度にかけて議論し、計画を策定していく。

今日は今後のスケジュールや SDGs を軸に据えること、といった方針について共有し、議論いただきたい。

これで方針決定というわけではないので、計画の方向性について、ご意見を伺いたい。

#### 《案件の説明》

**説明者** 資料を基に後期基本計画策定の概要及びスケジュールについて説明。

後期基本計画については、1 月までに前期方針の評価と後期計画策定方針を検討し、2 月以降、具体的な内容を検討していく。パブリックコメント、答申を経て来年度 11 月の第 4 回区議会定例会にて報告する予定。その後、4 月からの「未来戦略推進プラン」に計画を反映させる。

計画策定における視点として、大きく 2 点を考えている。1 つは SDGs を軸に据えること、2 点目は Society5.0 を踏まえた新たな行政サービスの構築。そのために、これから各部には、9 月までにかけて、各作業をお願いさせていただく。

#### 《主な意見》

**委員長** 未来戦略推進プランや各行政計画にて施策を具体的にしてきた中で、この中長期計画がどうあるべきか、今まで十分に議論しきれていない部分がある。

基本計画は総花的になりやすい。実際には、縦割りの計画になりがちである。

今回は後期計画で、前期の総括は必要だが、それに捉われることなく、新たな計画の策定のつもりで意識してもらいたい。

策定に向けて、各部にどのような作業を依頼するか、今後具体的に示して依頼する。

#### 《主な意見》

**委員** 今回 1 年遅れる主な要因は、コロナウイルスの影響と SDGs への取組が大きい。

これまで区の政策・施策を SDGs の観点から見直すことはしていない。この新たな視点での整理によって、施策の強みや弱みが見つかると思うので、それを計画に反映していきたい。

**委員** 後期計画の中で、定員管理計画の大きな方向性を示していきたい。

**委員** コロナウイルスでパラダイム変化のあった防災危機管理の取組は、SDGs と絡んでくることである。それを踏まえて計画策定に当たりたい。

**委員** 23 のまちづくり記念事業など、主だったハード整備が完了する。それを今後どう生かしていくか、SDGs の視点を踏まえ、この計画に位置づけていく。

**委員** 環境分野は SDGs に関わりが深い。また、例えばテレワーク・時差出勤等の集中取組が、6 月をもって終了ということになっているが、こうした新たな取組が今後も続いていくようなことを示す必要があるのではないか。

**委員** 計画が 10 年スパンであることは、時代の変化についていくのは厳しいのかもしれない。また、施策等のボリュームが多い。未来戦略推進プランとの棲み分けも、しっかり整理したほうがよい。

- 委員** 区民ひろばを今後どう展開するか。  
また、新たなコミュニティという問題もある。コロナウイルスの状況を受けて、どのように地域コミュニティを活性化できるのか、検討を深めたい。
- 委員** トキワ荘、ハレザなどのハード整備等で文化の基盤が整ってきた。これからは、その基盤を活かした本当の意味での文化施策を計画に位置付け、豊島区の文化を区内外へ示せるようにしたい。  
映像の使用やネット配信、冊子の作り方等、計画の分かりやすい見せ方も工夫すべきではないか。
- 委員** まだ職員にSDGsが浸透しているとは感じられない。まずは、職員がSDGsに対して理解を深めることが重要である。  
今回のコロナウイルスを受けて、既存の行政サービスを根幹から見直さないといけない、ということを痛感している。  
計画のボリュームについて、各部での行政計画に施策の詳細が任されているところもある。総論は基本計画に、各論は各行政計画に委ね、分かりやすく計画を見せることが大事ではないか。
- 委員** スケジュールが1年ほど後ろ倒しになることは、現場として非常に助かる。職員はコロナウイルスによる現場対応で疲弊している。スケジュールの中で十分に検討していきたい。
- 委員** 築30年以上の公共施設が半数以上ある中で、施設の再構築が課題である。この間のハード整備により「稼げる自治体」の基礎ができてきている。それをどう生かしていくかを後期計画に位置づけたい。
- 委員** 23のまちづくり記念事業が完了していくので、これからは管理方法が大事になる。施設管理に力を入れて、施設を有効活用して長持ちさせ、最小の経費で最大の効果を生み出していく。また、これからの施設整備にあたっては景観なども重要な要素である。
- 委員** 地震、大型台風等の災害に対応できる、安全・安心のまちづくりの視点を踏まえ、計画に反映していきたい。
- 委員** 5年先を具体的に表現することは難しい。未来戦略推進プランとのバランスを取りながら、どう未来像を見せていくかが、大事なのではないか。
- 委員** 民間企業の長期計画では、未来からバックキャストで考えることが主流となっている。フォアキャストだと、どうしても前回計画の延長線となる。未来を見せるようなかたちで、豊島区らしさを計画にどう盛り込むか。  
SDGsは総花的で、手段に過ぎない。それを踏まえて、どう政策・施策を組み立てるかが大事。
- 委員** あるべき姿とギャップを認識したうえで、2025年の姿をビジュアル化して、しっかり見せられる計画にすべき。そうすることで、区民だけでなく、職員もしっかり計画を意識して、施策を推進するのではないか。
- 委員** 財政見通しはコロナウイルスを踏まえたこれからの状況を考えると、ここ数年は厳しくならざるを得ないと思う。そのバランスの取りながら検討していく必要がある。

- 委員** コンプライアンスなど信頼される区政というものをしっかり表現したい。  
計画は施策等をあまり細かく作り込まない方が良い。総論に力点を置いたほうがいいのではないか。  
また、指標は上手に設定しないといけない。計画期間中に意味をなさない指標となるなど、管理が難しい状況に陥る可能性がある。
- 幹事** 誰をターゲットにしている計画なのか、コロナの時代に心に訴えるものなのか、を押さえたうえで、計画をつくっていくべきでないか。  
各所管課の作業を意識しすぎると、計画が細かくなりすぎる恐れがある。区の“背骨”となる部分、方針をしっかりと見せられる計画とすべき。  
現計画の指標は活動指標が多い。一方、成果指標はモニタリングが難しい。ここを踏まえて、どうKPIを設定していくか検討したい。
- 委員** 基本計画は策定後のメンテナンスが難しい。理由としては長期であること、総花的であることの2点が考えられる。  
期間の点は、5年や10年の計画は、社会状況も刻々と変わるので難しい。現在は国の縛りもないので、5年や10年である必要はないかもしれない。科学的である必要等の理由から指標も設定しないといけないが、国の状況等が変われば、指標自体が無意味になることもある。以前から、期間を見直したいと考えていた。  
様々な施策について様々な意見があることから、どうしても総花的にならざるを得ない面もある。  
SDGsに関しては、巣鴨北中が都のモデル校として様々な取組を行っているところである。
- 委員** コロナウイルスによりパラダイムシフトが起きたが、その影響は今後も続くであろう。影響は小さくはなっても、元の生活様式に戻るといえる事は無く、新たなステージの生活様式がスタートすると考える。計画を策定している間にも、状況は刻々と変わるはず。  
バックキャストという点について、都の計画では、「この時点でこうありたい」という夢物語的だが、細かくなく、分かりやすい内容を設定している。コロナウイルスの影響もあるので難しい面もあるだろうが、現状をシビアに見つつ、こうした分かりやすい設定も大事ではないか。また、安全・安心は、計画のより基本的な部分になるだろう。
- 委員長** 後期計画は、各部が自分のものとして計画づくりに取り組むことが重要である。  
計画は10年後、20年後の未来への提案である。企画課が作る計画ということではなく、全庁を挙げてこの計画を作っていくので、よろしく願いたい。  
それではこれにて閉会する。

会議の結果	審議会への提出資料については、今後、各部への作業依頼等を経て作成、提出する。
-------	--

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区基本計画策定委員会設置要綱</li> <li>・新基本計画策定スケジュール(想定)</li> <li>・新基本計画策定の検討体制(概念図)</li> <li>・新基本計画策定の視点について(たたき台)</li> </ul>
----------	--